

株主のみなさまへ

第73期 ご報告
(平成22年4月1日から
平成23年3月31日まで)

株式会社 岡三証券グループ

Ⅰ 会社概要 (平成23年6月29日現在)

商 号 株式会社岡三証券グループ
(OKASAN SECURITIES GROUP INC.)

所 在 地 東京都中央区日本橋一丁目17番6号

創 業 大正12年4月4日

設 立 昭和19年8月25日

資 本 金 18,589,682,639円

従 業 員 数 3,050名
(第73期連結ベース)

上場金融商品取引所 東京・大阪・名古屋証券取引所



本社ビル

Ⅰ 目 次

株主のみなさまへ	1
中期経営計画	2
経営体制	3
岡三トピックス	4
連結財務諸表	6
株式の状況・株主メモ	8
キーワード	9

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

このたびの東日本大震災により被災されたみなさまに、心からお見舞い申しあげ、一日も早い復興を祈念いたします。

今年3月の震災、原発危機は、安全な日本というブランド失墜への不安を増幅させた一方で、サプライチェーン復活の速さ等、日本再生への希望も感じさせました。変化の対応力が求められる今、金融・証券の役割がますます求められていると考えております。

このような環境下、当社グループでは様々な施策を実施しております。グループの中核となる岡三証券では、米国株を中心に海外投資を積極的に提案すると同時に、マレーシア、シンガポール株式の取扱いを開始するなど商品提供の充実を図ってまいりました。また、中国銀河証券やマレーシアOSK社との提携により、アジア関連の更なる展開を始めております。岡三オンライン証券では、スマートフォンなど携帯端末向けに最新の投資ツールを相次いで開発、提供を始めました。岡三アセットマネジメントでは、魅力的な投資信託の開発により、グループを超えた銀行、証券の販売ネットワークを拡大させております。加えて、証券グループとして一段の経営のスピードアップを図るため、本年1月に本社機能を日本橋室町に集約いたしました。

今後とも、新たな成長を実現できる経営体制と裾野の広い顧客基盤を構築することで企業価値の向上を図ってまいります。株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

平成23年6月



取締役会長

加藤 精一



取締役社長

加藤 哲夫

中期経営計画

「地球視点」からの商品・情報提供を実践しました

平成22年4月から平成25年3月末までを対象期間とする中期経営計画を策定し、その実現に取り組んでまいりました。当年度における取組み状況は次のとおりです。

■ 岡三証券、アジアビジネスを推進

岡三証券株式会社では、「地球視点」からの商品・情報提供体制の構築を推進しました。外国株式や外国債券、投資信託などの取扱い商品を拡充したほか、アジア株式の取扱い拡大に伴い中国銀河証券（中国）、OSK（マレーシア）などアジア地域の大手証券会社との業務提携により海外マーケットの情報収集力を強化いたしました。また、各種セミナーを積極的に開催するなど、お客さまとの接点拡大を推進しました。

一方、岡三オンライン証券株式会社においては各種取引ツール（ネットトレーダーシリーズ、岡三RSS、web発注、iPhoneアプリ等）の開発等により顧客サービスのレベルアップを図りました。また、岡三アセットマネジメント株式会社では、当社グループ外への販路拡大に注力いたしました。



岡三オンライン証券
FX取引ツール

■ 設備投資を積極化

当年度中の設備投資としては、IT基盤の構築として引き続き基幹システム「ODIN（オーディン：Okasan Database Information Node）」の開発に注力しました。

また、経営のスピードアップ及び投資情報発信機能の拡充のため、本社機能の一部を室町本店（東京都中央区日本橋室町）に移転いたしました。



岡三証券室町本店
14階 セミナールーム



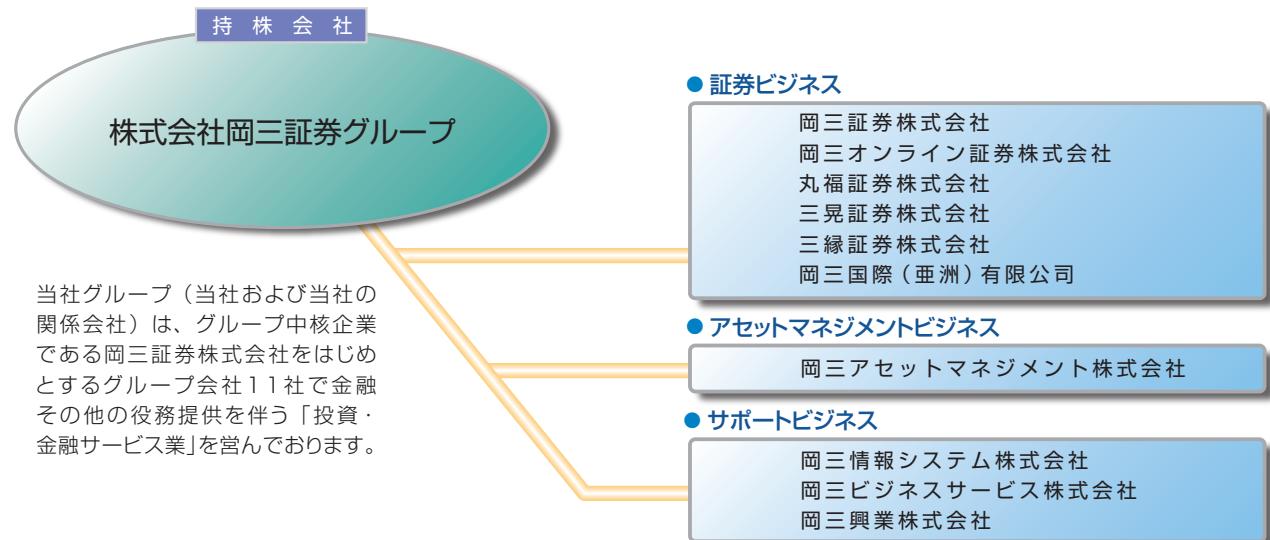
14階 お客さまラウンジ

■ 資産運用のベスト・パートナーを目指して

各国経済間の相互依存関係が深化し、世界経済のグローバル化が進展するにつれ、これまで以上に「地球視点」からの投資提案が必要になってまいりました。当社グループといたしましては、当社グループの強みである、お客さま一人ひとりのニーズに応じた機動的な商品提案力及び情報提供力にさらに磨きをかけ、地球視点からの最高の商品・情報、サービスのご提供に努めるとともに、地域に根ざした特色ある営業体制を構築し、お客さまに最も頼りにされる資産運用のベスト・パートナーを目指してまいります。

経営体制 (平成23年6月29日現在)

当社グループ



役員

株式会社岡三証券グループ

取締役会長	加藤 精一	執行役員	吉野 俊之
取締役社長	加藤 哲夫*	執行役員	目黒 博
専務取締役	新芝 宏之*	執行役員	村井 博幸
専務取締役	野中 計彦*	執行役員	寺山 彰
取締役	田中 健一*	執行役員	国広 昭彦
取締役	金井 政則*	執行役員	吉村 健也
取締役	新堂 弘幸*		
常勤監査役	岩木 徹美		
常勤監査役	朔 浩一		
常勤監査役	南 浩典		
監査役	平良木 登規男		
監査役	浅野 幸弘		
監査役	佐賀 卓雄		

(注1) *印は、執行役員を兼務しております。

(注2) 監査役 平良木 登規男、監査役 浅野 幸弘および監査役 佐賀 卓雄の3名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

岡三証券株式会社

取締役名譽会長	加藤 精一	取締役	渡辺 正一
取締役社長	田中 健一	取締役	青木 義一
専務取締役	金井 政則	取締役	飯田 真治
専務取締役	野中 計彦	取締役	夏目 信幸
専務取締役	高松 重之	取締役	吉村 健也
専務取締役	新堂 弘幸	取締役	関根 淳
常務取締役	田中 充	取締役	林 俊男
常務取締役	寺山 彰	取締役	西本 真一
常務取締役	小林 雅典	取締役	辻 和彦
常務取締役	村井 博幸	取締役	盛本 孝幸
常務取締役	古賀 伸一	取締役	松本 貴司
常務取締役	国広 昭彦	取締役	藤野 敦
取締役	加藤 哲夫	常勤監査役	伊藤 雅博
取締役	新芝 宏之	監査役	朔 浩一
取締役	松田 聡	監査役	北住 勲

(注) 常勤監査役 伊藤 雅博および監査役 北住 勲は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

I 岡三トピックス

■ 岡三証券グループ、岡三証券、本社機能を移転

日本橋室町に本社機能の一部を移転・集約

岡三証券グループと岡三証券は、1月11日に本社機能の一部を日本橋室町の室町東三井ビルディングに移転しました。今回の移転は、これまで各地に分散していた本社機能を集約し、経営のスピードアップと業務の効率化を目的としています。また、中期経営計画の重点施策である「日本を含めたグローバル商品・情報の深化」の推進のため、2ヶ所に分散していた情報部門を集約し、情報発信体制を強化しました。

このたびの移転を機に役職員一同さらなるサービス向上に励み、皆さまのご期待にお応えできるよう一層の努力をいたしますので、変わらぬご厚情を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



室町東三井ビルディング外観

岡三証券グループ 室町本社
岡三証券 室町本店

住所：
東京都中央区日本橋室町2-2-1
室町東三井ビルディング
13階～16階

電話番号：
岡三証券グループ 室町本社
03-3272-2222（代表）
岡三証券 室町本店
03-3272-2211（代表）
※両社とも代表電話番号に
変更はありません。

■ 岡三証券、マレーシアの大手証券OSKと業務提携

ASEAN市場の投資情報ネットワークを拡大

岡三証券は、3月9日、マレーシアの大手証券会社である「OSK Investment Bank Berhad」と業務提携の覚書を締結しました。OSKは、マレーシア、シンガポール、インドネシアなどASEAN地域で広く事業展開しています。マレーシアはイスラム金融の拠点として注目されており、今回の業務提携では、マクロ経済・証券市場等に関する情報交換や人材交流、将来的にはイスラム金融ビジネスの展開を視野に入れて相互協力をしていく予定です。

岡三証券では、1月にシンガポール株式、2月にマレーシア株式の取扱いを開始しました。今後は、OSKのネットワークを活用しASEAN市場の投資情報の充実を図るとともに、アジアビジネスをより一層強化してまいります。



調印書を交換するOSKのチェンCEO（写真左から二人目）と岡三証券田中社長（写真中央）

■ 岡三オンライン証券、顧客サービスを拡充

くりっく株365（取引所CFD）の取扱いを開始

岡三オンライン証券は、「お客さまの声をカタチに」を基本理念に、取扱い商品の拡充、サービスのレベルアップを進めています。

昨年11月に東京金融取引所が新たに上場したくりっく株365（取引所CFD）の取扱いを開始したほか、投資信託についてもノーロード（手数料無料）ファンドなど新たに62本を追加、投資信託の取扱い銘柄数を107本まで拡大しました。一方、取引ツールでは、近年利用者が急増しているスマートフォンへの対応として、業界初となるiPhone、Android搭載端末専用の上場FX「くりっく365」取引用アプリを相次いで投入しました。

岡三オンライン証券では、引き続きお客さまのご要望に合わせてサービスの充実を図ってまいります。



■ 岡三アセットマネジメント、絵本を寄附

三重県下の保育所423施設に総計12,690冊を寄附

岡三アセットマネジメントは、2月25日に「三重県応援・債券ファンド」による寄附を実施しました。

「三重県応援・債券ファンド」は、三重県の明日につながる次世代育成、社会福祉向上、環境保護等に関連した取組みおよび施設等に信託報酬から純資産総額に対し年0.15%を寄附することになっています。寄附初年度となった本年度は、信託報酬より三重県下の保育所423施設に絵本各30冊、総数12,690冊を寄附しました。また、ファンド設定1周年を記念して岡三アセットマネジメントより同423施設に本棚各1架を寄附しました。

今後も地域応援ファンドを通じた社会貢献活動を行ってまいります。



Ⅰ 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当年度 (平成23年3月31日)	前年度 (平成22年3月31日)	科 目	当年度 (平成23年3月31日)	前年度 (平成22年3月31日)
<資産の部>			<負債の部>		
流動資産	489,390	445,082	流動負債	401,606	366,335
現金・預金	43,339	41,440	トレーディング商品	124,430	100,447
預託金	48,053	57,700	約定見返勘定	28,475	—
トレーディング商品	182,512	142,869	信用取引負債	19,422	25,383
約定見返勘定	—	12,387	有価証券担保借入金	29,024	32,821
信用取引資産	36,247	44,337	預り金	20,186	22,871
有価証券担保貸付金	167,521	137,065	受入保証金	27,387	29,746
その他の流動資産	11,716	9,280	短期借入金	146,283	147,325
固定資産	53,147	54,413	その他の流動負債	6,395	7,739
有形固定資産	16,437	16,000	固定負債	27,096	16,727
無形固定資産	9,385	10,426	特別法上の準備金	1,211	855
投資その他の資産	27,323	27,986	負債合計	429,914	383,917
資産合計	542,537	499,495	<純資産の部>		
			株主資本	93,147	94,995
			資本金	18,589	18,589
			資本剰余金	12,910	12,918
			利益剰余金	64,495	65,363
			自己株式	△ 2,849	△ 1,876
			その他の包括利益累計額	45	1,314
			少数株主持分	19,430	19,268
			純資産合計	112,623	115,577
			負債・純資産合計	542,537	499,495

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	前年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	科 目	当年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	前年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
営業収益	62,964	66,235	特別利益	711	106
受入手数料	40,370	43,846	特別損失	2,918	801
トレーディング損益	19,099	18,283	税金等調整前当期純利益	2,261	7,553
金融収益	2,279	2,477	法人税、住民税及び事業税	2,570	2,865
その他の営業収益	1,214	1,628	法人税等還付税額	△ 1,585	—
金融費用	1,688	1,862	法人税等調整額	35	1,138
純営業収益	61,275	64,373	少数株主損益調整前当期純利益	1,240	—
販売費・一般管理費	57,866	56,626	少数株主利益	600	763
営業利益	3,408	7,747	当期純利益	640	2,785
営業外収益	1,321	807			
営業外費用	262	306			
経常利益	4,468	8,248			

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

受入手数料の商品別内訳	当年度	前年度
	(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
株券	11,345	14,137
債券	201	362
受益証券	27,051	27,412
その他	1,771	1,933
受入手数料の合計	40,370	43,846

(単位：百万円)

トレーディング損益内訳	当年度	前年度
	(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
株券等	9,645	7,802
債券等	9,342	10,815
その他	112	△ 335
トレーディング損益の合計	19,099	18,283

(単位：百万円)

販売費・一般管理費内訳	当年度	前年度
	(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
取引関係費	10,933	10,411
人件費	28,565	28,544
不動産関係費	6,438	6,453
事務費	5,091	5,785
減価償却費	3,828	2,702
租税公課	560	592
貸倒引当金繰入れ	—	5
その他	2,447	2,130
販売費・一般管理費の合計	57,866	56,626

受入手数料

受入手数料の合計は、前年度比7.9%減の403億70百万円となりました。主な内訳は次のとおりです。

株式関連収益は、夏場にかけての株式市況低迷が響き、株式委託手数料が減少した結果、前年度比19.7%減の113億45百万円となりました。債券関連収益は、地方債引受けの幹事を務めるなどしましたが、全体では収益が伸びず、同44.4%減の2億1百万円となりました。受益証券関連収益は、投資信託の残高増加に伴い信託報酬が増加しましたが、投資信託販売手数料の減少により、同1.3%減の270億51百万円となりました。その他の収益は、保険関連収益の減少等により同8.4%減の17億71百万円となりました。

トレーディング損益

株券等トレーディング損益は、主に米国株式への投資ニーズが高まり、外国株式国内店頭取引が大幅に拡大したことにより、前年度比23.6%増の96億45百万円となりました。一方、債券等トレーディング損益は、個人向け外国債券の売買高減少等の影響により、同13.6%減の93億42百万円となりました。なお、その他のトレーディング損益は1億12百万円（前年度は3億35百万円の損失）となりました。

販売費・一般管理費

事務費等は減少したものの、減価償却費や取引関係費等の増加により、販売費・一般管理費は前年度比2.2%増の578億66百万円となりました。

営業外損益および特別損益

営業外収益は13億21百万円、営業外費用は2億62百万円となりました。また、特別利益は投資有価証券売却益などにより7億11百万円となり、特別損失は東日本大震災に端を発する株式市況急落により発生した顧客の決済不足金に対する貸倒引当金繰入額の計上などにより29億18百万円となりました。

株式の状況・株主メモ (平成23年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	750,000,000株
発行済株式の総数	208,214,969株
株主数	29,307名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	9,800	4.83
住友信託銀行株式会社	9,726	4.80
農林中央金庫	9,700	4.79
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,822	2.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,537	2.73
大同生命保険株式会社	5,500	2.71
有限会社藤精	5,266	2.60
株式会社りそな銀行	4,937	2.44
株式会社みずほコーポレート銀行	4,925	2.43
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,848	2.39

※当社は、自己株式5,511,049株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



株価および出来高の推移(東証・月間)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中に開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) http://www.okasan.jp やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行きます。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) ☎0120-176-417 (平日9:00~17:00/土・日・祝を除く) (URL) http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

株式に関する届出およびご照会について

平成21年1月5日から株券が電子化されました。これに伴いまして、株式に関する届出(住所変更等)およびご照会は、株主さまの口座のある証券会社宛にお願いいたします。

なお、株券電子化前に証券保管振替機構(ほふり)を利用されていない株主さまには、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行に口座(特別口座といいます。)を開設いたしましたので、株主名簿管理人までご照会ください。

配当金のお受取り方法について

配当金のお受取り方法につきましては、便利なご指定口座への口座振込による方法のほか、証券会社のお取引口座において株式数に応じてお受取りいただく方法、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口でお受取りいただく方法がご利用いただけます。

お手続きにつきましては、株主さまの口座のある証券会社または住友信託銀行(特別口座に株式のある株主さま)へお問い合わせください。

key word キーワード

【証券取引所の再編】

グローバルな証券取引所再編が活発化

証券取引所の再編の動きが世界的に活発化しています。中には国や地域を越えたグローバルな再編も少なくありません。今年2月には、ニューヨーク証券取引所などを運営するNYSEユーロネクストとドイツ取引所が経営統合に向けた協議を行っていることを発表しました。実現すれば世界最大規模の取引所グループとなります。

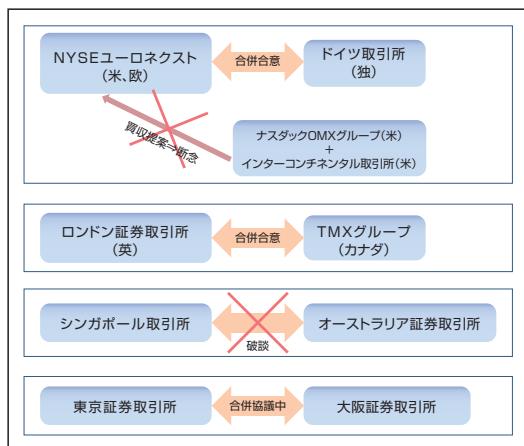
日本の証券取引所は、これまでのところグローバルな再編からは距離があります。一方で、東京証券取引所と大阪証券取引所が経営統合に向けた協議を行っており、国内では大きな再編の動きが出てきています。

証券取引所の再編が活発化している背景には、株式売買シェアと収益性の低下に悩む各取引所の強い危機感があります。特に海外では、伝統的な証券

取引所が、高速の取引環境を安価な手数料で提供する私設取引所にシェアを奪われつつあります。このような状況下で、各取引所とも収益性が高いデリバティブ取引などに多角化を図り収益を確保しようとしています。合併によるコスト削減効果で生じる投資余力を新たなシステム投資に回し、魅力的な市場を提供することで競争力を高める考えです。また、中国やブラジルなど、欧米以外の取引所が絡む再編や提携の動きもあります。新興国市場の成長力を取り込みたい狙いからです。

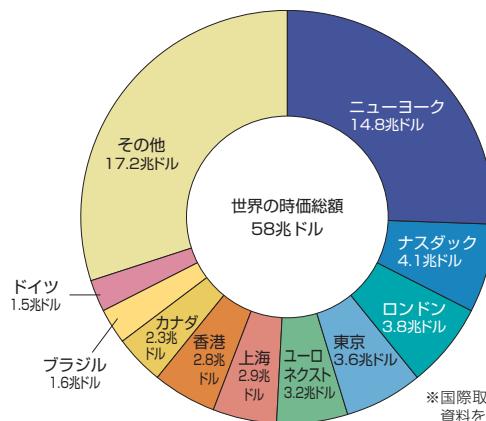
欧米から新興国まで巻き込んだグローバルな証券取引所再編はさらに活発化すると見られ、日本も無縁ではいられなくなっています。今後もこうした動きから目が離せない状況が続きそうです。

■ 最近の主な証券取引所再編の動き



※2011年5月現在、当社調べ。

■ 代表的な株式市場の時価総額（2011年3月末）



※国際取引所連合の統計資料をもとに当社作成。

サービス網のご案内 (平成23年6月29日現在)

■ 岡三証券グループ ■

本店 東京都中央区日本橋1-17-6 03(3272)2222

■ 岡 三 証 券 ■

本店 東京都中央区日本橋1-17-6 03(3272)2211

室町本店 東京都中央区日本橋室町2-2-1 室町東三井ビルディング 03(3272)2211

本店東館 東京都中央区日本橋1-20-5 03(3272)2211

岡三証券トレーディングセンター

東京都江東区平野3-2-12 03(3272)2211

アジア情報館 東京都港区虎ノ門1-4-7 03(5511)7711

札幌支店 北海道札幌市中央区北二条西3-1-8 011(251)3455

仙台支店 宮城県仙台市青葉区中央3-1-24 022(265)1718

勝田支店 茨城県ひたちなか市勝田中央12-15 029(275)3111

大宮支店 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 048(644)5841

柏支店 千葉県柏市柏2-6-8 04(7163)4311

千葉支店 千葉県千葉市中央区富士見1-15-9 043(222)8131

浅草支店 東京都台東区雷門2-4-8 03(3844)1717

池袋支店 東京都豊島区西池袋1-18-2 03(3983)5151

新宿支店 東京都新宿区西新宿1-6-1 03(3342)2511

渋谷支店 東京都渋谷区渋谷1-7-7 03(3409)3241

大手町支店 東京都千代田区内神田1-6-10 03(3295)5171

虎の門支店 東京都港区虎ノ門1-3-2 03(3502)1801

大森支店 東京都品川区南大井6-28-11 03(3763)3171

八王子支店 東京都八王子市明神町4-7-15 042(645)2211

横浜支店 神奈川県横浜市中区尾上町2-2-7 045(651)1251

沼津支店 静岡県沼津市大手町2-4-1 055(962)1313

静岡支店 静岡県静岡市葵区常盤町1-4 054(251)1331

浜松支店 静岡県浜松市中区鍛冶町140-2 053(456)2161

恵那支店 岐阜県恵那市大井町201-10 0573(25)2111

名古屋支店 愛知県名古屋市中村区名駅4-2-28 052(582)3431

金山支店 愛知県名古屋市中区金山1-13-6 052(321)1551

刈谷支店 愛知県刈谷市若松町2-101 0566(21)3232

金沢支店 石川県金沢市香林坊1-2-20 076(262)8811

四日市支店 三重県四日市市諏訪栄町20-11 059(353)1131

鈴鹿支店 三重県鈴鹿市西条4-87-2 059(382)1345

津支店 三重県津市中央6-5 059(226)1511

津支店久居営業所 三重県津市久居新町3002-3 059(256)8777

伊賀上野支店 三重県伊賀市上野東町2922 0595(21)5131

名張支店 三重県名張市希中央5番町11 0595(63)1511

名張支店桔梗が丘営業所 三重県名張市桔梗が丘2番町4-1 0595(66)4688

松阪支店 三重県松阪市中町6-8-1 0598(21)2552

伊勢支店 三重県伊勢市本町11-1 0596(28)1171

志摩支店 三重県志摩市阿児町鶴方4042 0599(43)5511

尾鷲支店 三重県尾鷲市中村町3-36 0597(22)1515

京都支店 京都府京都市下京区四条通高倉入立売西町63-1 075(231)7111

宮津支店 京都府宮津市鶴賀2066-69 0772(22)2166

大阪店 大阪府大阪市中央区今橋1-8-7 06(6202)1191

梅田支店 大阪府大阪市北区梅田1-12-17 06(6345)2951

阿倍野支店 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-100 06(6631)9331

千里支店 大阪府吹田市津雲台1-2-D9 06(6834)3535

東大阪支店 大阪府東大阪市足代2-3-6 06(6728)1133

堺支店 大阪府堺市堺区熊野町東1-1-2 072(233)5141

藤井寺支店 大阪府藤井寺市岡2-12-6 072(953)5941

奈良支店 奈良県奈良市本子守町1-1 0742(22)4001

和歌山支店 和歌山県和歌山市八番丁11 073(431)1431

神戸支店 兵庫県神戸市中央区三宮町1-1-2 078(392)5656

姫路支店 兵庫県姫路市十二所前町45 079(222)5961

岡山支店 岡山県岡山市北区田町1-3-6 086(224)5111

玉野支店 岡山県玉野市築港2-4-12 0863(31)1211

広島支店 広島県広島市中区大手町2-8-4 082(241)9511

宇部支店 山口県宇部市相生町9-7 0836(31)1171

松山支店 愛媛県松山市花園町11-3 089(932)2121

宇和島支店 愛媛県宇和島市錦町3-20 0895(22)5711

福岡支店 福岡県福岡市中央区天神1-12-20 092(751)3434

熊本支店 熊本県熊本市新市街11-18 096(325)7111

ニューヨーク駐在員事務所

420 Lexington Avenue, Suite 2529
New York, NY 10170, U.S.A. 212-983-1504

上海駐在員事務所

中国上海市浦东新区世紀大道100号
上海環球金融中心17階 21-6881-1001

■ グループ会社 ■

岡三オンライン証券株式会社 東京都中央区銀座3-9-7 03(3547)0100

丸福証券株式会社 新潟県長岡市大手通1-5-5 0258(35)0290

三晃証券株式会社 東京都渋谷区代々木2-13-4 03(5371)3111

三縁証券株式会社 愛知県名古屋市中村区名駅南1-24-30
名古屋三井ビル本館 052(561)1811

岡三国際(亞洲)有限公司 香港中環皇后大道中99號
中環中心46樓4601-3室 2525-3045

岡三アセットマネジメント株式会社 東京都中央区八重洲2-8-1 03(3516)1188

岡三情報システム株式会社 東京都江東区平野3-2-12 03(3820)1511

岡三ビジネスサービス株式会社 東京都中央区日本橋1-16-3 03(5203)1581

岡三興業株式会社 東京都中央区日本橋小網町9-9 03(3665)3500